

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ガッツ		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日実施している多彩な活動(レクリエーション)	季節の行事やクッキング、毎月行われている誕生会など利用者が楽しみにしている活動を毎日実施。 楽しむことから、支援の入り口を作っていく。 また集団での取り組みも、一人一人の特性に合わせ、アプローチの仕方を変えていく。	教材ソフトの導入 レクリエーションの幅と企画の効率化を図る
2	職員を対象とした計画的な研修の実施	感染対策、虐待防止、身体拘束、人権啓発など各委員会を作り年間を通して職員向けの研修を実施している。 外部研修だけでなく、併設事業所との合同研修を行い、意見交換の場を作っている。またそこで出た質問や疑問などは外部研修の際に議題としてあげるように取り組んでいる。	各研修への取り組みを事業所だけでなく、外部へ報告や周知しながら、事業所の理解につなげていく。 また保護者や利用者を対象とした勉強会なども今後は検討していきたい。
3	関係機関との連携	学校、相談支援事業所とのこまめな情報共有を心掛けている。 また担当者会議では学校を交えての開催ができるように学校お迎え時に担任の先生への相談を行う事もある。	相談支援員の方に事業所での利用者の様子など見ていただけるような声掛けも行う。より利用者についての理解が深まる場を提供していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者へ事業所で取り組んでいることが伝わっていない	HPやお便りで報告しているが、うまく周知ができていない。	H Pの周知を行い、日々の活動の取り組みを知ってもらう。 お便りにてQRコードを付けるなど、アクセスしやすいようにする。
2	地域とのつながり	地域の小学校や近くのサービス事業所など交友関係を築くことができていない。	まずはグループ事業所で高齢者の方との関りをもつ機会をつくる。またフレンドホームなどで開催される取り組みなどに参加しながら、地域とのつながりをつくっていく。
3	職員間での情報共有	勤務時間や出勤日数にバラつきがある中で、情報の共有がうまく行き届いてない。	情報共有できるツールの検討 (LINEやチャットワークなど) また各年齢層の職員が使いやすい方法を取り入れながら情報共有を考えていく。